

比較思想研究

2単位 2年(前期)

石田 三千雄・教授/人間文化学科, 吉田 昌市・教授/人間文化学科, 山口 裕之・准教授/人間文化学科

【授業目的】いくつかの「哲学的」トピックを取り上げ、それらについて考えることで、現代社会の諸問題を考察する視座を得る。

【授業概要】哲学史上論じられてきた多様なトピックについて、一般的・包括的な内容を各3~4回の講義で紹介する。それを受けた「まとめ」の回では受講者の中から若干名にレポートを発表してもらい、ディスカッションを行う。毎回の授業後に疑問や意見を「一言カード」記入してもらい、次回授業の冒頭で復習を行う。また、授業で用いたファイルや資料はウェブページに公開するので復習に役立てること。

【キーワード】哲学、科学と哲学、倫理学

【関連科目】『ヨーロッパ思想研究』(0.5), 『比較文化研究(その2)』(0.5), 『社会思想研究』(0.5)

【到達目標】

1. 人文科学(哲学)に関わる幅広い知識の理解を目標とする。
2. 日本語で論理的文章を書くことができる能力の養成を目標とする。
3. 高い倫理観の涵養を目標とする。

【授業計画】

1. イントロダクション:現代における哲学の意義(吉田, 石田, 山口)
2. 哲学の立場 その1:批判精神としての哲学 - ソクラテスの人と思想 - (吉田)
3. 哲学の立場 その2:何のための批判?- アイデアの哲学へ - (吉田)
4. 哲学の立場 その3:アイデアの哲学 - 哲学と宗教 - (吉田)
5. まとめとディスカッション(吉田, 石田, 山口)
6. 現代科学論の系譜(1) 自然法則とアイデア論(山口)
7. 現代科学論の系譜(2) 経験は真理を保証できるか(山口)
8. 現代科学論の系譜(3) プラナリアの記憶物質(山口)
9. 現代科学論の系譜(4) 因果関係は実在するか(山口)
10. まとめとディスカッション:「科学の正しさ」をめぐって(吉田, 石田, 山口)
11. 倫理的な正しさとは何か その1:リベラリズムの立場(石田)
12. 倫理的な正しさとは何か その2:リバタリアニズムの立場(石田)
13. 倫理的な正しさとは何か その3:コミュニタリアニズムの立場(石田)
14. まとめとディスカッション(吉田, 石田, 山口)
15. 授業全体のまとめ(吉田, 石田, 山口)

【成績評価】毎回の授業の最後に記入する「一言カード」、授業中に行う「小テスト」、「まとめ」授業における発表、学期末レポートを総合して評価する。得

点の配分や発表と期末レポートの採点基準については授業中に説明する。

【再試験】(再試験を)行う。

【教科書】なし。

【参考書】授業中に適宜指示する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219307>

【連絡先】

- ⇒ 石田 (2328, 088-656-7147, mishida@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 水曜14時から15時)
- ⇒ 山口 (共通教育4号館404(11年3月まで), 088-656-7615, yamaguti@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜10:30~11:30)
- ⇒ 吉田 (総合科学部1号館1N11室(北棟1階), 088-656-7150, shoichi@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 水曜12時から13時)